

# おばちゃん通信



9 月定例議会は決算審査があります。2018 年度の一般会計歳入額は 1542 億 4189 万円、歳出額は 1506 億 5138 万円。平成 30 年度横須賀市一般会計歳入歳出決算は賛成多数で可決されました。

## 【資源循環部】

生活環境常任委員会では、小動物死体処理事業の運用変更についての報告がありました。公郷にある小動物火葬場では、ペット、へい死獣(車などにひかれて死んでしまった動物)、有害鳥獣、動物愛護センター収容動物を火葬・焼却していました。これまで予算審議の中で、ペットの火葬については市が税金を投入すべきではないとの指摘がありました。また焼却炉の老朽化、委託業者の高齢化、地元の要望等の課題があることから、小動物火葬場を廃止する方針が示され、令和元年12月定例議会で手数料条例改正案を提出予定と報告がありました。

しかし委員会後、当該地域において全員が反対しているわけではなく、存続を望む声もあることがわかり、市長は住民と丁寧に話し合っていきたい、と条例改正案の提出を見送ることを表明しました。

【市長室】地域安全課では、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故を防止するため、ペダル踏み間違い時加速抑制装置を後付けする際の補助制度を創設しました。対象者は市内在住者(年齢要件なし)、補助率は補助対象経費の2分の1、限度額は16,000円です。令和11月1日から令和3年3月末までを補助対象期間とし、一か月あたり180件



程度の申請を想定しているそうです。この装置で必ず事故が防げるわけではありませんが、事故防止の一助にはなることかと思えます。

## 【福祉部・資源循環部】

議員提案で「横須賀市不良な生活環境の解消及び発生の防止を図るための条例」が平成30年4月より施行されました。その後ごみ等の堆積に関する通報件数が増え、いわゆる「ごみ屋敷」へ対応するべく市内の関係者会議が開かれ、情報共有がされています。

現在対象件数は23件。指導、勧告を経た命令を行ってもなお状況が解消しなかった件では、平成30年8月に行政代執行を行い、1710kgのごみを回収しました。この案件では何十回も担当課、保健師や医師が訪問しています。引き続き保健師等の訪問、医療関係者との連携を通じ、堆積者の心のケアに努めていくそうです。また、市としてはごみ集積所からごみの持ち去りを抑制する方法も検討中とのこと。



【総務部】令和元年6月1日現在、本市の障害者雇用率は2.34%。(法定雇用率は2.5%。令和3年までに2.6%まで引き上げ予定)未達成の状態です。未達成の理由は、重度障害者を含む職員の退職等とのこと。現在障害者雇用促進ワーキングチームによる検討が進められており、今後障害者ワークステーションの拡大や、職員採用試験に広く応募していただくための取り組み、障害のある方と共に働く仕組みづくりなどを検討しているそうです。



【一般質問】認知症フレンドリーなまちづくり、養育費の取り立て支援と面会交流支援、更生保護、障害児の登下校について質問しました。

問:認知症の方が起こした事故に関して補償する賠償責任保険に市が加入してはいかがか。

答:個人でも加入できるが、自治体が加入することで保険料が安価となり、内容も充実していると聞いている。今後、他の自治体の情報を収集して、市として導入すべきか検討していきたい。

問:認知症の方本人にとっては、「徘徊」ではなく、目的を持った外出である。「徘徊高齢者SOSネットワーク」の名称を変更してはどうか。また、ネットワークに認知症サポーターや外回りの業者等を加えてはいかがか。

答:認知症サポーターをネットワークに加えることは現在検討中である。また、新聞配達や宅配など外を回る業者についても検討していく。まずは本市と地域見守り協定を結んでいる団体から働きかけていきたい。



問:将来的に目的税のような形で税金を徴収し、認知症に関する施策を進めていく手法も検討してはいかがか。

【10月臨時議会】臨時議会が開かれました。9月8～9日にかけて本市を通過した台風15号により、市立鴨居保育園の園舎が損壊し、緊急で対策する必要が生じたためです。屋根が広範囲にわたり剥離し、建物内部も風雨にさらされ一部が浸水してしまいました。鴨居保育園は築53年が経過しており、修繕は難しく、また現地での建替えには既存園舎の解体、撤去など時間がかかってしまうこ

【会派:よこすか未来会議】市民の意見を聞き、作り上げた会派マニフェストが完成しました。会派HPよりご覧いただけます。 <https://www.yokosukamiraikaigi.org/>

答:税を広く集めて、政策を進めていくという考えは、認知症施策にとどまらず、これからの自治体経営の中で研究していかなければならないテーマである。他都市の事例も踏まえながら、視点を広く持ちながら、ぜひ研究を深めてまいりたい。

問:大阪市のような養育費取り決めのための公正証書作成支援を行ってはいかがか。また明石市では、自治体が保証料を保証会社に支払い、不払いが生じた場合、保証会社が不払い分を立てかえ、離婚相手から不払い分を取り立てるという仕組みで、養育費の立て替え事業を行っている。本市でもこうした養育費の立て替え事業を行ってはいかがか。

答:とてもよい取り組みだというふう感じたので、前向きに検討するように指示した。このような取り組みが多く自治体で広がることで、たとえ離婚したとしても、養育費を子どもの健やかな成長のために非監護者が支払うことは義務であり、監護者が受け取ることは当然だと理解される社会になってほしい。

とから、鴨居小学校内別敷地での建替えが提案されました。現在は鴨居小学校内で保育を行っている状態ですが、現在の課題もできる限り解消していくとのこと。補正予算として設計に3500万円、施行に4億円が計上され、全員賛成で可決されました。今後プロポーザル方式で事業者が決定され、令和2年度中には引っ越し、開設を予定しているそうです。

よこすか未来会議HP



おばたさおりプロフィール インターン生募集しています！ご興味ある方はお問い合わせください。

1985年10月3日生まれ。平作小、池上中、横浜市立金沢高校卒業。UCLA政治学部卒業。学習塾、フリースペース勤務を経験。2015年横須賀市議会議員選挙にて初当選。会派:よこすか未来会議  
移動事務所:080-1161-4031またはinfo@obatasori.com ブログも更新中です！